

ことり新聞

September
2025.9.5

Vol.149

伊藤看護部長

医療安全とは・・・

患者さんに安全な医療を提供することは、医療の最も基本的な要件の一つです。

私たち看護師は、24時間365日患者に寄り添い、医療行為の最終実施者になることが多くあります。また、看護業務の特徴（頻雑な業務・慢性的な時間切迫・多重課題）からも医療事故にかかわるリスクがとても高いです。

「人は間違いを犯すもの」という前提に立ち、患者さん、自分自身を守るためにみんなで安全文化を醸成していきましょう！

医療安全の4つの文化

報告する文化・・・事象を責められることなく報告できる環境を整えること

公正の文化・・・失敗を隠さずに報告し、学びを得ることで安全性を高める文化

柔軟な文化・・・システムの柔軟性を保ち、変化に対応できる文化

学習する文化・・・組織全体で学びを共有し、継続的に改善を図る文化

9月17日は「世界患者安全の日」



9月 研 修 ・ 行 事

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1～10日 青山大学実習受け入れ | 18日 臨地実習指導者育成カンファ |
| 2日 新人「ケーススタディへの取り組み」 | 18・30日 BLS研修 |
| 3日 卒3「看護現場学」 | 19日 ACP研修 |
| 4日 法人介護職「看取りエンゼルケア」 | 20・27・28日 法人福利厚生イベント |
| 5日 法人看護職「キャリア形成支援」 | 22～10/2日 大阪医専実習受け入れ |
| 6日 法人管理職「医療メディエーション」 | 26日 法人緩和ケア看護師教育研修 |
| 9日 排泄ケアスペシャリスト17期④ | 29日 看護補助者研修「やりがい」 |
| 16・17日 保健所立入検査 | 30日 12誘導研修 |
| 17・25日 法人卒3「職場内教育の基礎知識」 | |

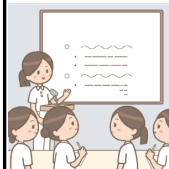
今月の偉人名言

とにかく忘れてしまいがちだが、幸福になれるのは持っているものに気づき、それに感謝の念を抱いたときだ。

フリードリヒ ケーニヒ

2025年度実習指導者研修 ～魅力ある実習環境を整えるために～

法人人材確保推進検討会 西5階 上野看護師長



今回、法人研修として初めて実習指導者研修（千里中央病院にて）が開催されました。講師は千里中央病院の満尾主任と協和会病院の二斗蒔田さん。

満尾主任は「実習指導の原理と学生の特徴」を講義し、実習が授業であり学びの本質であることをワークを通じて、学生の特徴に応じた指導法を学びました。二斗蒔田さんは「発問と思考発話」の重要性を説き、グループ事例を考えながら指導方法を探求しました。

研修の最後には、学生指導者として患者の状態に配慮し、学生の実習目標を達成するための方法をグループで考える事例検討が行われました。参加者は実習指導に対する自信を深め、日々の悩みを解消できる貴重な機会となりました。



退院支援リンクナース会

リーダー 外来 伊藤主任看護師

今年度退院支援リンクナース会では7月より症例検討会を行っています。

退院支援とは「そのひとらしい生きかた、逝きかたを支援すること」です。患者・家族の意思決定支援、多職種連携を意識しながら、グループで検討を行っています。

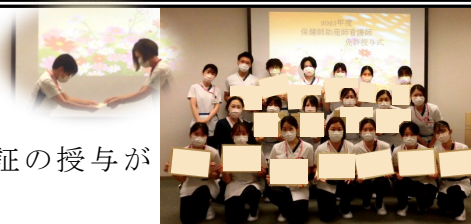
この症例検討の中で「何か見出せるものがあるのか・・・」「かえってモヤモヤした気持ちにならないのか・・・」とメンバーの表情や言葉には、思いを伝えようとする熱いパワーを感じます。

各病棟で症例をまとめることはとても大変ですが、症例を振り返ることで経験知となり、次の看護につながる！と信じ、貴重な財産になると思っています。



看護師免許証授与式

新人看護師の免許証が届きました。免許証の重み、免許証の取り扱い注意事項の話があり、新人看護師へ免許証の授与が伊藤看護部長より行われました。



7月 新規褥瘡発生 5人

・西2階 1人 ・西3階 1人 ・東4階 2人 ・西4階 1人

(8月褥瘡予防対策委員会より)